

ご協力
ください

地域に伝わる オフネの調査

市教育委員会では、今後、記録作成のため市内で行われているお船祭りを対象に、詳細な調査を行います。

調査は、各地区での聞き取りなどを予定しています。方法、時期などの詳細は、各お船祭りの保存団体への依頼、広報などでお知らせします。

調査の内容（予定）

- 1 現在も行っている地区
▷飾り物（場面の決定、人形等の制作、背景の制作、飾り付け）
▷お船の制作（材料、組み立てなど）
▷お囃子（曲名、メロディー、テンポの変化、演奏者など）
▷祭りの概要、曳行経路など
▷祭りの変遷
▷保存会等の現状
- 2 今は廃絶してしまっている地区
▷聞き取り調査（祭りの様子、行っていた時期など）
- 3 市民の皆さんからの情報提供
▷各家庭で撮影した祭りの写真・映像データなどの収集



安曇平のお船祭りの特徴

お船祭りは長野県一円にみられ、内陸部であるにもかかわらず、船形の山車を曳き出します。安曇平のお船祭りでは、中央に人形飾り物を配した巨大な船が、曳き回されます。神社に到着後は、「オフリヨウをわたす」と称し、境内を巡回するといった特徴があります。

※人形飾り物は、過去には飾っていたが、人手不足等で、現在では飾りをしない船もあります。



境内を曳行されるお船
（三郷・住吉神社）



地区内を曳行されるお船
（豊科・重柳八幡宮）



お船の組み立て作業
（明科・荻原神社）



人形飾り制作
（穂高・穂高神社）

安曇野のお船 後世へ 国選択無形民俗文化財に選択

市内を中心に継承されている「お船祭り」が、国選択無形民俗文化財に選択される見込みとなりました。今後、市内に残るお船祭りを、後世に伝えるため、調査などが行われます。



穂高神社御遷宮祭に合わせた市内お船の特別展示（昨年5月）



三郷・熊野神社のお船

市内を中心に行われる
「安曇平のお船祭り」

今回の国の選択無形民俗文化財への選択は、国の文化審議会が1月27日に文化庁長官に答申したものです。答申では「安曇平のお船祭り」として、市内や隣接する松本市、北安曇郡池田町一帯で継承され穂高神社に代表される「穂高型」によるお船祭りが対象になっています。地区ごとに大きさや形も異なりますが、船上に軍記物などの人形飾りを乗せ、毎年、祭りごとに作り直すなどの特徴があり、現在分かっている最古の記録は、1689（元禄2）年の穂高神社のお船祭りです。

記録作成が必要な文化財
来年度から調査を実施

国の選択無形民俗文化財は、国の重要無形民俗文化財以外の無形民俗文化財のうち、特に必要のあるものを選び、記録を作成し、保存するものです。

市教育委員会では、文化庁や専門家の意見を聞きながら、松本市や池田町などと協力し、来年度か

ら数年間かけて、各地区に残るお船の特徴やお祭りの運営方法などの調査を行います。併せて今は廃絶になっているお船祭りについても聞き取り調査をします。

後継者育成や
地域の魅力の再発見に

現在、市内各地区に伝わる「お船祭り」も、少子化、地域のつながりの希薄化など、さまざまな社会的要因により「お船制作」「飾り物制作」「お囃子」など技術の継承が難しくなり、後継者不足も顕著になってきています。昭和中期までは、市内の各所で行なわれていたお船祭りも、現在は半数近くに減ってきています。

今回の選択により、お船祭りを継承し支えている団体の後継者育成への好影響や、市民の皆さんが、地域の伝統文化を再発見し、地域づくりの活性化につながるなどの効果が期待されます。このほか安曇野の魅力を全国に向けて発信するきっかけとなり、観光面での効果も期待できます。

文化課文化財保護係

TEL 71・2464 FAX 71・2338